

## 「節英のすすめ」の著者、木村 護郎クリストフ教授がコーディネーター 音楽・ダンス・ゲームでいろいろな国と地域のことばに親しむ活動を実践 上智大学との連携で多言語の自然習得ワークショップを初開催

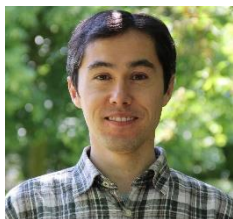
日時： 12月2日（月）17：20～19：00 ※参加無料（事前の申し込みは不要）  
場所： 上智大学 四谷キャンパス7号館 14階 特別会議室（東京都千代田区紀尾井町7-1）  
主催： 学校法人上智学院 ダイバーシティ推進室  
協力： 一般財団法人 言語交流研究所・ヒッポファミリークラブ

多言語教育を提唱するヒッポファミリークラブ（運営：一般財団法人 言語交流研究所、本部：東京都渋谷区、代表理事：鈴木堅史）は、12月2日（月）に上智大学で初めて開催される多言語の自然習得に関するワークショップにおいて、当日のプログラム作成と実践を担う協力者として携わることになりました。

このワークショップは、上智大学などを運営する学校法人上智学院（東京都千代田区、理事長：佐久間勤）のダイバーシティ推進室の主催で開催されます。コーディネーターは著書「節英のすすめ」で、脱英語依存こそ国際化・グローバル化対応のカギである、と唱える言語社会学が専門の同大・木村 護郎クリストフ教授です。イベント当日は、多言語に触れる環境で育ち高校や大学で海外留学の経験を持つ現役大学生が進行役を務めます。ヒッポファミリークラブの研究者や子どもを含む多世代の会員も加わり参加者を誘導しながら、音楽にあわせたダンスやゲーム、初めて触れることばをまねる活動など、体を動かしながらいろいろな国と地域のことばに親しむ活動を実践します。

当日は参加無料、事前の申し込み不要でどなたでもご参加いただけます。グローバル化が進み多様な価値観を持つ人々との共存・共生が求められるこれからの日本。出会ったどんなことばも受け入れ、開かれた心を育むことを目指す多言語活動の本質を、このイベントを通じてより多くの皆様を感じ取っていただければと考えています。

### コーディネーター



### 上智大学外国語学部ドイツ語学科 木村 護郎クリストフ教授（言語社会学）

1974年生まれ。一橋大学大学院言語社会研究科博士課程修了。  
慶応義塾大学専任講師などを経て、2012年より上智大学外国語学部教授。  
著書に『節英のすすめ—脱英語依存こそ国際化・グローバル化対応のカギ！』（萬書房）、  
共編著書に『多言語主義社会に向けて』（くろしお出版）、『媒介言語論を学ぶ人のために』（世界思想社）など。

### 主なプログラム

- ★日本語を含め多言語で行います
- ワークショップの主旨説明（木村 護郎クリストフ教授）
- いろいろな国と地域の音楽を使ったダンスやゲーム（★）
- 初めて聞く多言語の物語をまねる体験（★）
- 多言語で自己紹介に挑戦（★）
- ヒッポファミリークラブ会員の多言語プレゼンテーション
- 全体講評（木村 護郎クリストフ教授）

※上記はプログラムの一部です。詳細につきましてはお問い合わせください。

※当日の状況により内容が変更になる可能性があります。



他大学で行われた多言語実践活動の様子

一般財団法人 言語交流研究所（1981年10月、多言語活動の提唱者である榊原陽氏が設立）が運営するヒッポファミリークラブは、「多言語の自然習得活動」、「国際交流活動」、「研究・開発活動」の3つを柱として、家族や地域の会員と共に、いろいろな国と地域のことばを自然に身につけ、様々な人に出会い、共に育つことのできる環境づくりに取り組んでいます。日本国内に約700カ所の活動場所があり、海外（アメリカ、メキシコ、韓国、台湾）にも活動が広がっています。

### 【報道関係お問い合わせ先】

ヒッポファミリークラブ 広報室 E-mail:kouhou@lexhippo.gr.jp

TEL:03-5467-7041（代表電話のため受付は9：00～17：30となります。ご不便をおかけしますがあらかじめご了承ください）